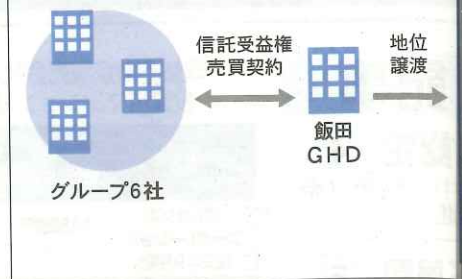


戸建て賃貸市場

戸建て賃貸事業の



※飯田G

参入する。新築戸建て住宅の建築の強みを武器に、戸建て賃貸市場でのインシアチブを取りたいと考えた。

グループ6社と飯田GHDが契約締結し、買主の地位を特別目的会社（SPC）に譲渡。グループ6社が施工した戸建ての新築分譲物件をSPCが運用する。グループ

これに先立ち、同社では4月にグループ6社との間で信託受益権売買契約を締結。初回は46棟を取得する。

管理や入居者募集はプロパティマネジメント会社に委託する。エリアは1都3県（東京、神奈川、埼玉、千葉）で、広さや駐車場があること、全棟で住宅性能評価書を取得

安哲也部長は「アペロックパーが分譲用の新築戸建て住宅を賃貸物件とする事例は少ない。これまで取り逃がしてきた『借りた』顧客層を獲得すること、新たな顧客層の開拓にも寄与できると考えている。年間4万棟超を供給している強みを生かして、市場を先導したい」と語った。

の福岡市では、不動産に関するあらゆるサービスを提供できる不動産総合サービス企業として地域に根差していきたい」と語る。

売買仲介の子会社設立

Good不動産 司法書士法人から事業譲渡



Good不動産
(福岡市)
牧野修司社長(48)

約2万户を管理するGood(グッド)不動産(福岡市)は5月1日に、完全子会社のGood不動産コンサルティング(同)を新たに設け、売買仲介事業を分離し、同子会社に継承させた。

これまでGood不動産の売買事業部で行っていた、売買仲介事業や実需向け不動産の買い取り再販事業を、Good不動産コンサルティングに移管。さらに、同子会社では今後もみつ葉グループと連携し、遺言書の作成や相続相談などの資産コンサルティングサービスを拡充していく。

同子会社は、Good不動産が提携する司法書士法人みつ葉グループ(東京都港区)の関連会社で不動産事業を手がけていた、みつ葉ホーム(福岡県大野城市)の株式を取得し、事業譲渡を受け、社名を変更した。

商品を取り扱う不動産特定共同事業を手がけている。

小倉社長は「不動産小口化商品の販売によって、今後、福岡市で新しい投資家を集めていく。その投資家に、自宅の購入、教育資金の確保、相続対策などを含めたライフプランニングや資産コンサルティングサービスを提供していく役割を、新子会社で担ってきたい」と語る。今後、みつ葉グループと連携したセミナー開催などもしていく予定だ。

グループで総合不動産事業を手がけるGood不動産の子会社はほかにも、プロパティマネジメント(PM)事業を行うGoodリアルエステート(東京都港区)、リフォーム事業を手がけるG

東京都港区に本社移転

クリアル 増加した従業員数を収容

不動産投資のクラウドファンディングのクラウド

トフォーム「Creal(クリアル)」を運営するクリアル(東京都港区)は5月22日、事業規模の拡大に伴い、本社を移転した。本社を移転するのはこれで2度目となる。

新本社は、都営地下鉄三田線内幸町駅から徒歩2分の場所に位置する



▶新本社のエントランス



クリアル
(東京都港区)
横田大造社長(46)